

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	・災害対策 災害時における、近隣との協力体制の構築。	自治会・近隣住民との交流を図り、緊急時に救出援助ができる体制の構築をはかる。	自治会に加入し、地域活動への参加を活発にし近隣住民との交流を深める。運営推進会議や行事への参加、消防訓練の立会などを促し、近隣への施設の周知を図る。	3ヶ月
2	6	・身体拘束をしないケアの実践 身体拘束にあたる行為の周知徹底。	全職員が拘束の具体的な行為を理解、拘束による心身の弊害を周知し、身体拘束を無くすと共に、身体拘束廃止の雰囲気施設内に定着させる。	社内、社外の身体拘束廃止の研修を受講し、施設に持ち帰り、施設職員へ勉強会を行い、知識の共有を図る。	2ヶ月
3	5	・市町村との連携 入所者家族と介護相談員との連携をはじめ、地域資源の発掘。	入所者家族に介護相談員訪問予定日を周知すると共に、介護相談員の役割を説明、理解を促し、地位包括支援センターや民生委員との連携を図る。	月1回の近況報告欄に記入、入所者家族へ郵送。運営推移新会議に民生委員の参加を依頼する。施設から行政に近況報告や課題を投げかけ理解や支援を得るなど協力関係を築く。	3ヶ月
4	49	・日常的な外出支援 1日の業務内容の中に散歩が取り入れられない現状。	天気の良い日に外出支援が日常的に実施できるような業務内容の構築を図る。	管理者や計画作成担当者の協力を頂きながら外出の機会を得る。散歩を数回に分けて実施するなど工夫し、車椅子使用の入所者も外出できるよう支援する。	2ヶ月
5	33	・重度化やターミナルに向けた方針の共有と支援 ターミナルに関して、施設としての明確な方針が無く、また同意書等の書類の不備。	施設としてターミナルに関する方針を明確に定め、入所者家族に説明し、同意を頂き、家族の意向を踏まえたサービス提供の実施。	施設としての方針を施設長、管理者で作定し、必要書類などの整備、入所者家族の意向を伺い、ターミナルケアの実践にむけた検討を行う。	3ヶ月

【評価機関】

特定非営利活動法人VAICコミュニティケア研究所